

2008年11月23日主日礼拝 《収穫感謝祭》

司会	①山本登兄	②新田兄	③森下兄
奏楽			
祈禱	①山本師	②久保田兄	
賛美	聖歌322番	(み救いを受けし罪人・522) (栄光ある主の御名)	
「3つの愛」			
聖書	ローマ人への手紙5章1～5節		
音楽	① 北島美佐子姉		
	②③ 宮田四郎兄		
メッセージ	「三つの喜び」 大川従道牧師 (1999年森チャペル時代の収穫感謝礼拝)		
賛美	「驚くばかりの」(229・献金)		
頌栄	「主は今生きておられる」アメン		
祝禱			

「希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。」(ローマ五の五)

【大和ニュース】

- ・ 本日は「収穫感謝礼拝」。心から主を崇め感謝いたします。(来週からアドベントに入ります。来週は3部とも倉知契副牧師がメッセージされます。)
- ・ 本日9時「洗礼準備会」(転入希望者も必ず)。アブラハム会、モーセ会等あり。
- ・ J. PLUSは、サークルデー(2時)。明日1時よりJ. PLUSの賛美集会とXマス装飾。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！説教は梶山師。(先週召天された父君の証を中心に語られます)
- ・ 福音礼拝はビデオ礼拝。火曜昼2時～3時。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は坪井永城師。ご一緒に祈り込みましょう。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜6時50分。説教はT. D. Jakes師(黒人No.1プリーチャー)
- ・ 大川牧師は順調に快復しつつありますが、12月から聖務にもどられる予定です。

石の枕

私は11月10日夜10時半頃、救急車で搬送され、聖ルカ病院で緊急手術をいたしました。病名は「心筋梗塞」。冠動脈のひとつが99%狭くなっており、ステントを2本入れて命を守っていただきました。教会員の古川ドクターの見守る中、深夜にもかかわらず、言葉に表せないほどみごとに大手術を成功させて下さいました。大感謝。愛兄弟の熱いお祈りにも大感謝！

医師の指導により(退院しましたが)、しばらくは静養とのこと。ご理解くださり御加禱下さいますようお願いいたします。この病いが「神近抱束(高速)」となり、成熟めざした牧者となりますように努め励みます。

ニューヨークに、何年か前まで世界一高いと言われ続けて来たエンパイア・ステートビルがあります。その高さは102階。実は、1620年にメイフラワー号に乗って来た清教徒たちの数、即ち102人を記念するためだそうです。

開拓者たちはその年の秋、飢えと病氣と先住民の襲撃により、44人しか生き残れませんでした。凶作が続く中でも落胆しなかった彼らに、3年目に豊作が訪れました。ところが、収穫を前にして無数の虫が襲いかかり、穀物を食い荒らし始めました。いくら虫をとっても焼け石に水の状態なので、彼らは一箇所に集まり手を取り合って、涙で祈りました。そして、夜通し悔い改めました。

「神よ、信仰の自由を求めてこの地に来ましたが、あなたの恵みを忘れて暮らしていた私たちをお赦してください」

翌朝、素晴らしい奇蹟が起りました。空を覆うほどのスズメの群れが飛んで来て、虫を食い尽し始めたのです。彼らは口々に叫びました。「私たちは神様を心から信じお従いします。私たちは神様の恵みを決して忘れません」

それ以後、彼らは神の恵みを想い出し、神への感謝が足りなかったことに気づき、それまでいい加減にして来た「収穫感謝礼拝」を盛大にささげるようになりました。その時から、「涙とともに種を蒔く者は喜び叫びながら刈り取る」という収穫の原理と神の恵みに対する感謝の精神とが代々受け継がれて来たとのことです。(良いお話でしょう。数ヶ月前にこの例話を本日の「収穫感謝礼拝」の説教で用いようと準備していたのですが、病氣になり、静養(西洋医学の結論)を強いられていますので、ここに記述することにしました。)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ヤコブ5章～Ⅱペテロ1章 Bコース:イゼキエル書29章～42章